

令和7年度事業報告

1) 普及活動の充実

①講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。
 開催日 毎月1回
 定員 半日コース：30名、一日コース：20名
 参加費 半日コース 500円 一日コース：1,000円

- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース
 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
 開催日 5月31日（土）、10月25日（土）
 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
 定員 10名 参加費 1,500円

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。
 開催日 7月31日（木）、8月1日（金）、8月9日（土）
 時間 9時30分から15時30分
 定員 20名 参加費 2,000円
 講師 川瀬基弘氏、片田はるか氏、市村駿汰氏、村宮悠介氏、浅井勇馬氏、当館学芸員

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
 概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には認定証を授与する。
 開催日 8月10日（日）
 時間 9時30分から15時
 定員 10名 参加費 1,500円
 講師 安藤佑介（当館学芸員）

- ◆名称 パレオパラドキシアを復元しよう
 概要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の3D骨格画像にイラスト

で肉付けを行う。

開催日 8月16日(土)
 時間 13時～15時
 定員 20名 参加費 1,000円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 恐竜の模型を作ろう(入門編)
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けする。

開催日 8月17日(日)
 時間 9時30分～11時30分
 定員 20名 参加費 1,500円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 恐竜の模型を作ろう(応用編)
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。

開催日 8月17日(日)
 時間 13時～15時30分
 定員 15名 参加費 2,000円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 コハクの原石を磨こう!
 概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。

開催日 10月26日(日)
 時間 10時から12時
 定員 15名 参加費 1,000円
 講師 当館学芸員

②博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬に延べ6日間、実習生1名(中部大学)を受け入れた。

③学校等団体の対応(展示解説・化石採集) ※太字が市内学校等団体

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	名古屋市立向陽高校	7月17日	27名	化石採集、展示解説
2	愛知県立明和高校	8月8日	38名	化石採集、展示解説
3	麗澤瑞浪高校	9月27日	59名	展示解説

4	明世小学校 6 年生	11月19日	36名	パンフレット作りの見学
5	瑞浪小学校 6 年生	11月21日	116名	化石採集
6	明世小学校 2 年生	1月23日	29名	展示解説

④団体等への対応（来館・化石採集対応） ※太字が市内団体

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	みずなみかたりべの会	5月16日	40名	展示解説
2	岐阜県都市教育長会	8月22日	20名	展示解説
3	ワーキングホリデー	9月13日	8名	展示解説、化石採集
4	環境史学会若手の会	11月29日	24名	展示解説、化石採集
5	東郷町社会教育委員	12月4日	16名	展示解説
6	東濃飛騨議長会議	1月16日	18名	展示解説

⑤出前授業・講演会・化石資料貸し出しの実施

概 要 出前講座は、主に市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料の貸し出しや学芸員が出向き、資料の解説・化石についての授業を行う。毎年4月に教頭会、理科部会で宣伝を行っている。講演会は、日帰りで行ける範囲内であれば要請があった時に学芸員が出向き対応している。

開 催 日 要望があった場合は随時（要予約）

講 師 当館学芸員

対 象 小学4年～中学3年（出前授業の場合）

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	土岐市美濃陶磁歴史館	6月7日	約50名	パレオパラドキシアの講演
2	釜戸小学校 6 年生	6月20日	20名	化石に関する授業
3	日吉小学校 6 年生	10月2日	12名	学校敷地の地層見学
4	日吉小学校 6 年生	10月15日	12名	化石に関する授業
5	瑞浪小学校 3 年生	12月2日	125名	化石に関する授業
6	岐阜大学公開講座	12月6日	50名	化石検定についての講演
7	肥田中学校	2月4日	40名	化石に関する授業
8	秩父歴史文化伝承館	3月1日	100名	瑞浪産化石に関する講演
9	サイエンスワールド	3月7日	50名	レプリカづくり講座
10	愛知県陶磁美術館	3月8日	150名	瑞浪産化石に関する講演
11	瑞浪中学校 1 年生	3月10日	124名	化石に関する授業

⑥観光造成コンテンツ事業（商工観光課主催）、ふるさと納税ツアーの実施
令和7年度より、じゃらんとタイアップしたツアー（バックヤードツアー等）、ふるさと納税プライベートツアーを実施している。ツアーは、3月末までに12組35名の利用があった。ふるさと納税は4件の寄付があった。

2) 資料の充実と調査・研究

①資料の閲覧

	申請者・所属	閲覧日	資料名・数量
1	川瀬基弘・愛知みずほ大学	9月13日	師崎層群産貝化石・100点
2	成田 健・長野市立博物館	9月19日	ミズナミムカシアシカ・一式
3	高井正成・京都大学総合博物館	9月20日	ゴンフォテリウム頭骨・1点
4	長森英明・産総研	11月13日	ハマグリ化石・4点
5	栗原行人・三重大学	12月25日	ロウソクガイ・7点
6	木村敏行・群馬県立自然史博	1月23日	ミノイルカ・一式
7	栗原行人・三重大学	2月7日	瑞浪産貝類・一式
8	中島 礼・産総研	2月11日	福島県産ホタテガイ・4点

②資料の貸し出し

	申請機関（または申請者・所属）	閲覧日・貸出期間	資料名・数量・目的
1	東京都市大学（中島保寿）	4月10日～令和8年3月31日	カメ類化石・1 ロット・研究のため
2	福島県立博物館（土屋祐貴）	6月13日から1年間	瑞浪層群産耳石化石・2点・研究のため
3	愛知みずほ大学（川瀬基弘）	9月13日から1年間	ボタンウニ類化石・17点・研究のため
4	岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会	9月25日～9月30日	パレオパラドキシア頭骨レプリカ等・18点・展示のため
5	産総研（長森英明）	11月13日～1年間	ハマグリ化石・研究のため
6	三重大学（栗原行人）	2月7日～9月7日	エゾハマグリ化石・研究のため

③資料の寄贈

	寄贈者	寄贈日	資料名・数量
1	橋本芳彦	4月2日	野外学習地産クジラ下顎化

			石・1点
2	市川真由美	4月25日	ボタンウニ類など・2点
3	合田隆久	4月26日	可見市産魚類化石など・23点

④資料の収集

鹿児島県薩摩川内市(甕島)で白亜紀の貝類・カニ類を約20点採集した。採集した標本については研究や展示に活用する予定である。

⑤調査・研究事業(定期研究報告刊行事業、化石博物館資料収集・備品等購入経費)

- ・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究(継続)
(担当:安藤、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究プロジェクトのうち、脳形態の研究を福井県立大学と共同で実施)
- ・九州産(主に薩摩川内市)カニ化石の研究(継続)
(担当:安藤、甕ミュージアム、熊本大学と共同で実施)
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載(新属新種)
(担当:安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同)
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討(担当:柄澤、継続中)
- ・生命の樹プロジェクト-十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
(担当:柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究)
- ・3月末までに下記論文が出版された。
 - ・Schweitzer, C.E., and H. Karasawa. 2025. Part R, Revised, Volume 1, Evolutionary History of decapod groups: Anomura. *Treatise Online* 186: 1-21.
 - ・Karasawa H., and H. Kato. 2025. A reconsideration on Miocene Munididae of Japan, with a description of a new species of *Trapezionida* (Decapoda, Anomura, Galatheaidea). *Journal of Paleontology First view*: 1-13.
 - ・Karasawa H., and N. Kobayashi. 2025. Cirripedes from the Miocene Mizunami Group, central Japan, with the description of a new species of *Amphibalanus Pitombo* from the Iwamura Group, central Japan. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum* 52(1): 55-99.
 - ・安藤佑介・新村龍也・小田 隆・徳川広和・甲能直樹. 2025. パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元と展示. 瑞浪市化石博物館研究報告 52(1): 107-120.
 - ・Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, H. Karasawa, J. Luque, and F. R. Schram. 2025. Part R, Revised, Volume 1, Classification and phylogeny of the Decapoda: Introduction to systematics chapters. *Treatise Online* 190: 1-33.
 - ・Ando, Y., and Y. Mizuno. 2025. New species of *Megaceradocus* (Amphipoda: Maeridae) from the Lower Miocene Morozaki Group, central Japan. *Neues Jahrbuch für Geologie und Paläontologie* 316(2): 147-154.

- ・ Karasawa, H., and N. Kobayashi. 2026. Some new records for cirripedes from the Pliocene–Pleistocene of Southwest Japan, with two new species of Balanomorpha. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum* 53(1): 9–21.
- ・ 柄沢宏明・川瀬基弘・小林信明. 2026. 中部更新統屋美層群の軟体動物化石の追加記録—コウイカ類とタコ類による穿孔痕を残した二枚貝と巻貝. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 23–27.
- ・ 柄沢宏明・川瀬基弘・合田隆久・小林信明. 2026. 日本の鮮新統～更新統産出の巻貝中に保存されたヒラフネガイについて. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 29–31.
- ・ 柄沢宏明・小林信明. 2026. 日本産化石テッポウエビ類の追加記録. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 33–36.
- ・ 柄沢宏明. 2026. 三重県の中新統一志層群産ミズナミマメヘイケガニについて. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 37–40.
- ・ 柄沢宏明・合田隆久. 2026. 石川県の中部中新統異野鼻層と下部更新統大桑層から産した十脚類化石について. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 41–43.
- ・ 柄沢宏明・加藤久佳・小林信明. 2026. 愛知県の中新統設楽層群のエビシヤコ類について. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 45–47.
- ・ Karasawa, H. 2026. Miocene records of *Entricoplax* Castro and *Exopheticus* Castro (Decapoda: Brachyura: Goneplacidae) from Japan. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum* 53(1): 49–56.
- ・ 安藤佑介・伊藤允一. 2026. 岐阜県瑞浪市における域学連携を活用した『化石検定』の実施. 地域志向学研究 10: 27–35.

⑥古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。3月末までに6,034点が登録された。

⑦化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和7年度は11編（日本5編、イギリス3編、アメリカ3編）の論文が投稿され、オンライン公開された。公開された論文をまとめた冊子媒体を令和8年3月に230部出版した。

⑧化石博物館50年史の発行（定期研究報告発行事業）

化石博物館開館50年を記念して50年史50冊を刊行し、化石博物館研究報告のページで公開した。（公開は令和8年3月27日）。

⑨報道発表、広報への記事掲載

これまでに広報みずなみには「みずなみ化石ナビ」の記事を4月号（みずなみ化石教室のご案内）、6月号（パレオパラドキシア研究のその後、その1）、11月号（パレオパラドキシア研究のその後、その2）に掲載した。また、みずなみ化石PRアンバサダー就任について報道発表を行った。

3) 文化施設再編について（化石博物館事務経費）

令和7年度に、和泉郷土歴史館（福井県）、甕ミュージアム（鹿児島県）、滋賀県立琵琶湖博物館（滋賀県）、多賀町立博物館（滋賀県）、松本市四賀化石館（長野県）、松本市立博物館（長野県）、福井県立恐竜博物館（福井県）、あいち朝日遺跡ミュージアム（愛知県）、志段味古墳群ミュージアム（愛知県）を視察し、基本構想の素案を作成した。今後、市役所の担当部署との協議を行っていく。

4) その他

①博物館の再登録について

令和4年に博物館法の一部を改正する法律が施行され、登録博物館は再登録をすることとなった。当館は、昭和49年に登録博物館となったが、令和6年より岐阜県文化伝承課支援の下、再登録の準備を行い、令和8年3月に審査を受け、4月7日付で再登録となった。

②みずなみ化石PRアンバサダーについて

瑞浪市では、シティプロモーションの強化を図っている。その一環として化石博物館では、本市に関する情報発信（SNS等）を自発的におこなっている方々をアンバサダーに任命し、一層の情報発信を図るきっかけ作りをするとともに、関係人口増加につなげる活動を行う。その第1号として、これまで瑞浪市における化石採集や化石博物館に関する普及動画を制作・公開しているタレントの市川真由美さん（タレント名：まゆみん）にみずなみ化石PRアンバサダーを令和8年3月25日に委嘱した。

資料

令和7年度入館者数 (人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	6年度	比較
4	1,082	679	28	100	1,889	1,653	236
5	1,663	1,103	157	145	3,068	3,671	-603
6	1,000	591	149	25	1,765	1,652	113
7	834	598	82	116	1,630	1,733	-103
8	1,641	1,291	144	137	3,213	3,096	117
9	948	600	32	212	1,792	1,984	-192
10	934	561	29	51	1,575	1,996	-421
11	1,104	763	223	244	2,334	1,818	516
12	381	220	82	13	696	636	60
1	353	208	35	107	703	0	703
2	714	506	53	38	1,311	0	1,311
3	874	618	63	123	1,678	3,337	-1,659
合計	11,528	7,738	1,077	1,311	21,654	21,576	78

令和7年度野外学習地利用者 (人)

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	6年度	比較
4	265	938	1	81	266	1,019	1,118	-99
5	329	1,135	6	307	335	1,442	1,608	-166
6	150	476	1	102	151	578	862	-284
7	145	440	4	158	149	598	596	2
8	223	704	5	215	228	919	913	6
9	186	551	0	0	186	551	566	-15
10	182	649	2	48	184	697	1,213	-516
11	266	930	10	455	276	1,385	1,077	308
12	53	196	0	0	53	196	340	-144
1	59	182	1	89	60	271	348	-77
2	147	440	0	0	147	440	206	234
3	216	660	2	90	218	750	820	-70
合計	2,221	7,301	32	1,545	2,253	8,846	9,667	-821

令和7年度みずなみ化石教室参加者 (人)

半日コース		一日コース		上級コース	
定員 30名		定員20名		定員10名	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月27日	30	4月27日	17		
5月11日	12	5月11日	17	5月31日	4
6月8日	28	6月8日	18		
7月13日	26	7月13日	15		
9月14日	21	9月14日	12		
10月12日	32	10月12日	20	10月25日	3
11月9日	8	11月9日	11		
12月7日	16	12月7日	10		
1月25日	中止				
2月22日	24				
3月22日	33				
合計	230	合計	120	合計	7

令和7年度各講座受講状況 (人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石マイスター養成編	7月31日	17	20
化石マイスター養成編	8月1日	17	20
化石マイスター養成編	8月9日	20	20
化石マイスター認定編	8月10日	3	10
パレオパラドキシアを復元しよう	8月16日	8	20
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月17日	20	20
恐竜の模型を作ろう(応用編)	8月17日	11	12
コハクの原石を磨こう	10月26日	17	20
合計		113	142

令和8年度事業について

1) 普及活動の充実

①企画展等の開催（化石博物館事務経費）

- ◆名称 ミニ展示
 概要 新設した展示コーナーに広報や論文に掲載された化石を定期的に展示する。年に1回程度実施予定。

②講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。

開催日 毎月1回

定員 半日コース：30名、一日コース：20名

参加費 半日コース 500円 一日コース 一般：1,000円

- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース
 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
 開催日 5月30日（土）、10月31日（土）
 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
 定員 10名 参加費 1,500円

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。

開催日 7月30日（木）、31日（金）、8月8日（土）

時間 9時30分から15時30分

定員 20名 参加費 2,000円

講師 川瀬基弘氏、村宮悠介氏、片田はるか氏、浅井勇馬氏

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
 概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には修了証を授与する。

開催日 8月9日（日）

時間 9時30分から15時

定員 10名 参加費 1,500円

- 講 師 安藤佑介（当館学芸員）
- ◆名 称 パレオパラドキシアを復元しよう
 概 要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の3D骨格画像にイラストで肉付けする。
- 開 催 日 8月15日（土）
 時 間 13時から15時
 定 員 20名 参加費 1,000円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）
 概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。
- 開 催 日 8月16日（日）
 時 間 9時30分～11時30分
 開 催 日 15名 参加費 1,500円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 恐竜の模型を作ろう（応用編）
 概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
- 開 催 日 8月16日（日）
 時 間 13時～15時30分
 定 員 10名 参加費 2,000円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 第二回化石検定
 概 要 令和6年に第一回を開催した化石検定の二回目を開催する。6名の研究者が作成した検定を参加者に受検してもらい、点数に応じて一級、二級、三級を授与する。検定終了後に研究者が講演を行う（服部創紀氏：福井県立大学恐竜学部を予定）。令和6年はミライ創ろまい課主催だったが、第二回は化石博物館主催とする（ミライ創ろまい課は協力）。
- 開 催 日 8月22日（土）
 時 間 12時30分～13時30分（検定）
 13時45分～15時30分（講演・質疑応答）
 定 員 80名 参加費 無料

- ◆名称 コハクの原石を磨こう！
概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。
開催日 10月25日（日）
時間 10時から12時
定員 15名 参加費 1,000円
講師 当館学芸員

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬の1週間、実習生を受け入れる。

④出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開催日 要望があった場合は随時（要予約）

講師 当館学芸員

対象 小学4年～中学3年

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業

(1) 調査（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・鹿児島県薩摩川内市：中生代の貝類・十脚類化石の調査

(2) 研究

- ・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究（継続）
（担当：安藤、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究プロジェクトのうち、脳形態の研究を福井県立大学と共同で実施）
- ・静岡県産カニ化石の研究（担当：安藤、新規）
- ・市内で発見されたカメ化石の研究（担当：安藤、東京都立大学と共同で実施）
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載（新属新種）
（担当：安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同、論文投稿中）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討
（担当：柄澤、継続中）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究、継続中）

②備品等の購入・制作

(定期講座開催経費・化石博物館資料収集・備品等購入経費)

- ・ 図書コーナー用図書：古生物学の百科事典を購入予定。
- ・ 研究用書籍：Tropical Deep-Sea Benthos 等2冊を購入予定。
- ・ 講座用ノートパソコンの更新。

③古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

④化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和8年度は研究報告第53号の公開を行う。公開された論文については令和9年3月に冊子媒体で200部出版する予定である。

3) 化石博物館空調機器および照明器具の改修について（化石博物館改修事業）

化石博物館の空調設備（全館空調と展示室空調）は、設置から27年が経過し、一部の部品は製造中止となっていることから修理不可能となる場合がある。令和8年度は、全館空調機器部品の入替改修工事を行い、延命措置を行う。併せて事務室やレクチャールームで使用中の蛍光管についてはLED化の改修工事を行う（予算額約32,000千円）。

4) 野外学習地アクセス階段への手すり設置について（化石博物館施設管理経費）

現在、土岐川堤防から野外学習地へ降りる階段には手すりがない。予算がつき、岐阜県からの許可がだされたため、設置工事を実施する（予算額約320千円）。

協議会委員名簿（令和8年4月1日～令和10年3月31日：任期2年）

氏名	所属・役職等	選出区分
藤井 志保	明世小学校長	学校教育関係者
吉田 英一	名古屋大学博物館 館長・教授	学識経験のある者
松岡 敬二	豊橋市自然史博物館元館長	学識経験のある者
中山 京三	瑞浪市サッカー協会理事	社会教育関係者
西尾 京子	化石博物館ボランティア 市民図書館読み聞かせボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者